

**「平成22年度 第28回研究助成金贈呈式」を開催**  
**「研究助成金」受領者16名、「矢崎学術賞」受賞者1名を決定**  
国際会議等への参加を支援する「国際交流援助」受領者も18名

公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団（理事長：尾崎 護、所在地：東京都港区）は平成22年度の「研究助成金」受領者16名、「国際交流援助」受領者18名、「矢崎学術賞」受賞者1名を決定しました。

「研究助成」は、研究の独創性に重点を置き、「エネルギー」「新材料」「情報」の3分野を対象領域としています。種目は、「一般研究助成」（助成金200万円）、若手研究者のための「奨励研究助成」（同100万円）、2000年から新設された特定テーマに関する「特定研究助成」（同1,000万円）の3つです。

今年度は、「一般研究助成」には88件の応募があり、審査の結果、井上 翼（イノウエ ヨク）静岡大学工学部 電気電子工学科准教授はじめ5名に決定しました。

「奨励研究助成」は、72件の応募の中から、加藤 俊顕（カトウ トシアキ）東北大学大学院 工学研究科助教はじめ10名に決定しました。

「特定研究助成」は、18件の応募の中から、波多野 睦子（ハタノ ムツコ）東京工業大学大学院 理工学研究科電子物理工学専攻教授に決定しました。

また、過去の研究助成金受領者の中から、優れた成果をあげた研究者に贈る「矢崎学術賞」は、功績賞が渡部 平司（ワタナベ ヘイジ）大阪大学大学院 工学研究科生命先端工学専攻 物質生命工学コース教授に決定しました。奨励賞は、該当者なしです。

贈呈式は、3月10日、午前11時15分より、東京都港区の東京プリンスホテルにて開催しました。

「研究助成」「国際交流援助」「矢崎学術賞」の各対象者の詳細は、以下の通りです。

## 平成22年度 「一般研究助成」受領者

敬称略 アイエオ順

### <新材料>

	氏名／役職	所属機関	研究題名
1	井上 翼 イノウエ ヨク 准教授	静岡大学 工学部電気電子工学科	新奇軽量高強度カーボンナノチューブ・ファイバーの開発
2	尾上 順 オノエ シュン 准教授	東京工業大学 原子炉工学研究所 物質工学部門	新奇導電性フラーレンポリマーの透明電極材料への応用
3	筒井 一生 ツツイ カズオ 教授	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 物理電子システム創造専攻	超低電圧動作トランジスタに向けたシリコン上の共鳴トンネル構造の研究

### <エネルギー>

	氏名／役職	所属機関	研究題名
4	小原 伸哉 オハラ シンヤ 教授	北見工業大学 工学部電気電子工学科	ガスハイドレートの解離・再生特性に着目した小温度差発電システムを用いたマイクログリッド用ベース電源の開発

### <情報>

	氏名／役職	所属機関	研究題名
5	山本 晃生 ヤマモト アキオ 准教授	東京大学大学院 工学系研究科 精密機械工学専攻	次世代情報機器のための 静電気力を用いた普通紙ハンドリング機構の研究

※応募件数 88 件

## 平成22年度 「奨励研究助成」受領者

敬称略 アイエオ順

### <新材料>

	氏名／役職	所 属 機 関	研 究 題 名
1	加藤 俊頭 カウ トシアキ 助教	東北大学大学院 工学研究科	精密パラメータ制御拡散プラズマCVDによるグラフェンナリボンの直接合成
2	守谷 頼 モリヤ ライ 助教	東京大学 生産技術研究所	単一ドメイン構造を持つ酸化物ナノ細線の作製と新機能の創出
3	安田 琢磨 ヤスタ タクマ 准教授	九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門	高効率偏光発光を実現するオルガノメタリクス半導体の開発
4	山本 拓矢 ヤマモト タクヤ 助教	東京工業大学大学院 理工学研究科 有機・高分子物質専攻	環状高分子ミセルをキャリアとする温度応答型DDSの開発
5	渡辺 雄二郎 ワタナベ ユウジロウ 研究員	金沢工業大学 高度材料科学研究開発センター 生活環境研究所	新規徐放性無機肥料としてのゼオライト/水酸アパタイトナノ複合体の開発

### <エネルギー>

	氏名／役職	所 属 機 関	研 究 題 名
6	朝間 淳一 アサマ ジュンイチ 准教授	静岡大学 工学部 機械工学科	磁気浮上式ベアリングレスモータの超高速化と高効率化
7	中田 一弥 ナカタ カズヤ 研究員	神奈川科学技術アカデミー 重点研究室 光触媒グループ	金ナノロッドを用いた色素増感太陽電池の高効率化
8	中山 泰生 ナカヤマ ヤスオ 助教	千葉大学 先進科学センター	有機単結晶を用いたヘテロ界面電子物性評価を通じた高効率な有機薄膜太陽電池の界面設計指針の探索

### <情報>

	氏名／役職	所 属 機 関	研 究 題 名
9	寺川 光洋 テラカワ ミツヒロ 助教	慶應義塾大学 理工学部 電子工学科	光音響法を用いた生体内薬剤情報のリアルタイムイメージング
10	星野 智史 ホシノ サトシ 助教	東京工業大学 資源化学研究所	群知能ロボットシステムにおける渋滞緩和のためのロボット群制御と環境設計論

※応募件数 72 件

平成22年度  
「特定研究助成」受領者

敬称略

	氏名／役職	所 属 機 関	研 究 題 名
1	波多野 睦子 ハタノ ムツコ 教授	東京工業大学大学院 理工学研究科 電子物理工学専攻	太陽光の化学エネルギーへの変換を実現する 自立型人工光合成チップの創製

※応募件数 18 件

## 平成22年度 国際交流援助（前期）受領者

敬称略 順不同

	氏名／役職	所属機関	研究題名	国際会議の名称
1	柴田 暁伸 シバタ アキノブ 助教	京都大学 工学研究科材料工学専攻	鉄合金レンズマルテンサイト の内部微視組織発達機構の 解明	第7回環太平洋先端材料 およびプロセス国際会議 (オーストラリア ケアンズ)
2	正井 博和 マサイ ヒロカズ 助教	京都大学 化学研究所	酸化物半導体ナノ結晶を 含有する結晶化ガラス	第22回ガラスに関する 国際委員会 (ブラジル サウヴァートル・ ダ・ハイア)
3	北村 尚斗 キタムラ ナホ 助教	東京理科大学 理工学部工業化学科	放射光 X 線を用いた CePO <sub>4</sub> を母体とするプロ トン・電子混合伝導体の結 晶・電子構造解析	第218回アメリカ電 気化学会会議 (アメリカ ラスベガス)
4	小林 亮太 コバヤシ リョウタ 助教	立命館大学 情報理工学部知能情報学科	生体内膜電位データからシ ナプス活動を推定する方法 論の構築	ピーター ランスキー教授 (チェコ プラハ)
5	櫻井 岳暁 サクライ タケアキ 講師	筑波大学大学院 数理物質科学研究科 電子・物理工学専攻	高効率有機太陽電池にお ける有機／電極界面の物 性制御	第5回薄膜及び表面 コーティング技術に 関する国際会議 (中国 ハルビン)
6	衣本 太郎 キヌモト タロウ 助教	大分大学 工学部応用化学科	固体高分子形燃料電池用 Pt/SnO <sub>2</sub> /KB 触媒の調製 と耐久性	第61回 国際電気 化学会年会 (フランス ニース)
7	滝本 裕則 タキモト ヒロリ 助教	岡山県立大学 情報工学部 情報通信工学科	人の視知覚特性に基づく 視認困難なキャリブレーション パターン	第20回 国際パタ ーン認識連盟主催 パターン認識に 関する国際会議 (トルコ イスタンブール)
8	板垣 奈穂 イタガキ ナホ 准教授	九州大学大学院 システム情報科学研究院 情報エレクトロニクス部	アモルファス酸窒化亜鉛薄膜 の固相結晶化により作製 した高品質酸化亜鉛薄膜	第7回反応性プラズ マ国際会議他 (フランス パリ)

※応募件数 22 件 内、共同研究 1 件

**平成22年度  
国際交流援助（中期）受領者**

敬称略 順不同

	氏名／役職	所属機関	研究題名	国際会議の名称
1	瀧脇 雄介 フチワキ ユウスケ 研究員	産業技術総合研究所 健康工学研究部門 ストレス計測評価研究グループ	使い捨て電気化学プリントチップを用いた超高速フロースルー PCR システム	2010 環太平洋国際化学会議 (アメリカ ホノルル)
2	糸井 貴臣 イトイ タカヒ 助教	千葉大学大学院 工学研究科 人工システム科学専攻	被切削材として非鉄金属を使用したリサイクル型 Fe3Al 複合材料の切削工具特性	2010 年 アメリカ材料学会 秋季会議 (アメリカ ボストン)
3	河野 英昭 カノ ヒデアキ 助教	九州工業大学大学院 工学研究院 電気電子工学研究系	クラスター固有空間 BPLP を用いた欠落高周波成分推定を伴う画像拡大法	第4回 環太平洋地域における画像と映像技術のシンポジウム (シンガポール ナンヤン)
4	久保 祥一 クボ ショウイチ 助教	東北大学 多元物質科学研究所	ポリスチレン薄膜への中性水溶液の浸透挙動の解明	2010 環太平洋国際化学会議 (アメリカ ホノルル)
5	福重 真一 フクシゲ シンイチ 助教	大阪大学大学院 工学研究科	ライフサイクルシナリオ設計のための設計支援手法の提案	環境技術に関する国際会議 (オーストリア ウィーン)
6	柴田 裕史 シバタ ヒロフミ 助教	千葉工業大学 工学部 生命環境科学科	細孔内部がフタロシアンにより修飾されたメソ構造化チタニアの調製およびその可視光照射下における光触媒活性性能	2010 環太平洋国際化学会議 (アメリカ ホノルル)

※応募件数 15 件 内、共同研究 0 件

**平成22年度  
国際交流援助（後期）受領者**

敬称略 順不同

	氏名／役職	所属機関	研究題名	国際会議の名称
1	櫛引 俊宏 クシビキ トシヒロ 講師	大阪大学大学院 工学研究科附属 フロンティア研究センター	新しい癌細胞特異的製剤 を用いた光線力学治療	ハーバード大学医 学部 ハーバード大 学医学部 (アメリカ ボストン)
2	小山 幸平 コヤマ コウヘウ 助教	佐賀大学 海洋エネルギー研究センター	向流型および並流型ガス ーガスマイクロチャンネル 熱交換器の伝熱性能を予 測するための等温壁モデル	ASME 2011 第9回 ナノチャンネル, マイクロチャ ンネル, ミニチャンネル国 際会議 (カナダ アルバータ)
3	竹田 智 タケダ トモ 助教	東北大学大学院 工学研究科 材料システム工学専攻	カーボンナノチューブ分 散ポリマーコンポジットの 電気伝導特性に関する理 論的・実験的研究	米国機械学会 応用 力学・材料会議 (アメリカ シカゴ)
4	菊池 将一 キクチ ショウイチ 助教	立命館大学 理工学部機械工学科	回転曲げおよび軸荷重下 における難燃性マグネシ ウム合金の超高サイクル 疲労特性に関する研究	第5回超高サイクル 疲労に関する国際 会議 (ドイツ ベルリン)

※応募件数 7 件 内、共同研究 1 件

# 平成22年度 「矢崎学術賞」受賞者

敬称略

## <功績賞>

	氏名／役職	所 属 機 関	研 究 題 名
1	渡部 平司 ワタナベ ヒロシ 教授	大阪大学大学院 工学研究科 生命先端工学専攻 物質生命工学コース	超低消費電力 MOSFET 用マルチゲート電極形成技術の確立

※応募件数 3 件

## <奨励賞>

	氏名／役職	所 属 機 関	研 究 題 名
	該当者なし		

※応募件数 9 件

## ◎財団概要

名 称：公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団

理事長：尾崎 護

所在地：〒108-0014 東京都港区芝5丁目14番地2号 鈴木ビル3階

電 話：03-3455-8878

設 立：昭和57年12月15日（矢崎総業株の創業40周年を記念して設立）

目 的：科学技術にかかる研究開発の助成と振興を図り、公益の増進と活力ある社会の実現に資することを目的とします。

基本財産：9億4,028万円

主務官庁：内閣府

事業活動：

### 「研究助成」

- ・独創性に重点を置き、「エネルギー」「新材料」「情報」の3分野を対象領域としています。
- ・助成の種目は「一般研究助成」と、若手研究者のための「奨励研究助成」及び平成12年度から新設された特定のテーマに関する「特定研究助成」があります。
- ・一般研究助成金は1件について200万円、奨励研究助成金は1件について100万円を基準とします。また、特定研究助成金については、1件につき1,000万円が基準となります。
- ・昭和58年度に第1回助成を行い、平成22年度で第28回となります。

### 「国際交流援助」

- ・国際研究集会に出席し、研究の発表、講演等を行い、もしくは国際共同研究のために先方より招聘されている研究者に対し、旅費を援助するもので、出張先の地域によってその都度査定します。

### 「矢崎学術賞」

- ・研究助成金受領者の研究報告書に基づき、優秀な成果に対して贈ります。
- ・平成9年度より「功績賞」と、若手研究者を対象とした「奨励賞」とに分けて表彰しています。

以上

<この件に関するお問い合わせ先>  
公益財団法人矢崎科学技術振興記念財団  
TEL. 03-3455-8878  
矢崎総業株式会社 広報部  
TEL. 055-965-3002